

※令和5年度を⑤、令和6年度を⑥と表記しています

👉 財政運営をCheck!

基金運用の見える化を 運用益3.5千万円

豆田 優子 議員
基金運用において年度中の債券売却等に関する実施報告がない。市民や議会に対し基金運用を「見える化」することが必要。

歳出予算330億円のうち、 決算での不用額12.3億円

戸田 進一 議員
不用額は予算の執行残。生じる要因は経費節約効果や予算の過大見積もり等。長期的に見れば、増加傾向、精査が必要。

経常収支比率は横ばい 本市90.2%、類似団体93.6%

米山 信 議員
本市の令和6年度経常収支比率はほぼ横ばいの90・2%。令和5年度の類似団体平均は前年度より悪化し93・6%。

実質公債費比率 ⑤5.8%→⑥5.7%

高山 賢二 議長
実質公債費比率等の財政の健全化を判断する数値は、全て健全化法の基準内であるが、推移を注視していく必要がある。

👉 子育て・教育施策をCheck!

部活動指導員配置事業 目標9人→実績7人

倉元 敏徳 議員
部活動の地域展開が間近。指導員9人の募集に対し7人の採用。地域展開後、部活動は現状を維持できるのか。

スクールソーシャルワーカー 予算3人→決算3人

中村 恵輔 議員
不登校や虐待防止の支援を担うが、各校区1人配置では過大規模校への対応が困難。体制強化が急務と考える。

👉 補助金をCheck!

こどもの居場所補助事業 予算66万円→決算16.8万円

石田 まなみ 議員
子ども食堂や学習支援等こどもの居場所づくりの補助事業。申請件数が目標値に届かず、今後の周知改善に期待。

ビーチサッカー補助金 予算80万円→決算80万円

佐伯 美保 議員
終期の設定がない補助金があり、長期化や既得権化につながりやすい。終期の設定や審査機関連設置等の見直しが必要。

いざ! 検証! 議会の17の視点

令和6年度を数値でCheck!

くどう りさ 工藤 莉沙 さん



👉 健康事業をCheck!

がん検診委託料

予算3320万円→決算2923万円

井手口 忠信 議員
早期発見により治療負担を軽減し、健康寿命の延伸と医療費抑制に寄与する事業。受診率向上へ更なる対策を期待する。

👉 安全をCheck!

空き家対策事業

予算339万円→決算289万円

中村 晶代 議員
問題の空き家の解体や補修等の正件数は18件。引き続き、所有者及び相続人の特定や、近隣住民の苦情への対応が必要。

👉 自主財源確保をCheck!

ふるさと納税

目標7億円→実績2.5億円

大山 隆之 議員
国のルール変更によって福岡県への納付額が低下。本市も令和5年度より納付額が減少したため、さらなる改革が必要。

ふるさとづくり寄附金

⑤5.2億円→⑥2.5億円

尾島 武弘 議員
ふるさとづくり寄附額は5年度実績から52%減少し、寄附件数も半減している。自主財源確保のため更なる改善策が必要。

👉 国保会計をCheck!

国保会計収入済額

予算66億円→決算63億円

中村 清隆 副議長
国保加入者が減少。団塊の世代が後期高齢者医療保険へ移行。今後、財政を悪化させないために、未納を出さない努力を。

👉 公共施設の管理状況をCheck!

公共施設包括管理事業

予算3.9億円→決算3.8億円

岩下 豊 議員
令和6年度から包括管理業務委託を開始。人件費削減が重要な目的だが、達成度が不明。事業に対して更なる効果検証が必要。

公共施設包括管理事業

123か所を6人で管理

秦 浩 議員
令和6年度から123か所を、包括管理事業者が6人で保守管理業務全般と巡回点検を実施している。その効果は。

中央公民館の電気代が

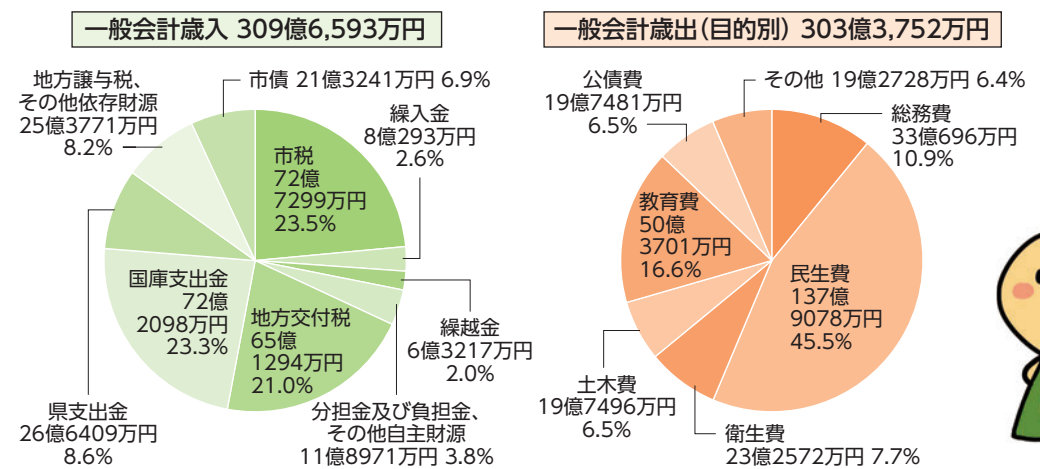
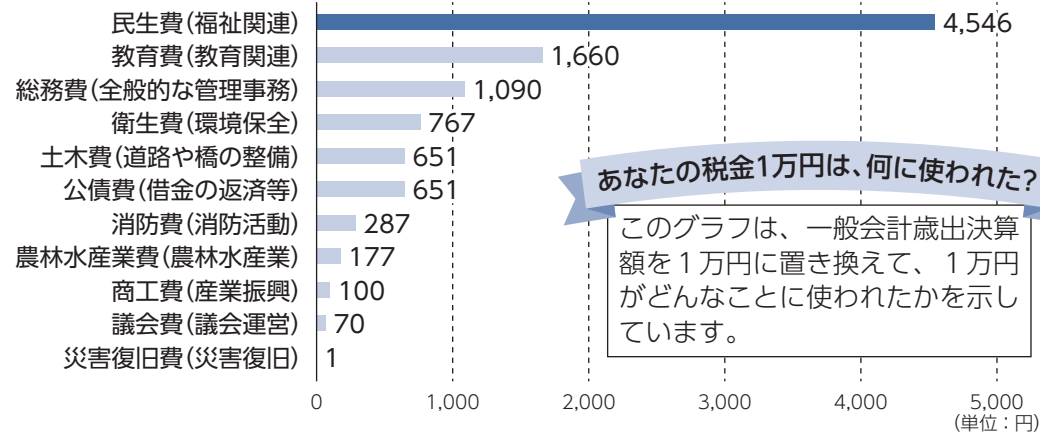
前年度比約2倍に増加

山本 祐平 議員
電気代高騰と割引が無くなったため、令和5年度は362万円だった電気代が707万円に増加。経常経費の増加は深刻。

令和6年度 決算審査



左から
たがわ こう
田川 煌 さん
のみやま か い
(後) 許山 花衣 さん
たけな め い
(前) 橘 芽咲 さん
たけな め い
橘 優芽 さん
やまもと みつき
山本 美月 さん



(注意) グラフの構成比は表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。

監査委員の視点



財源の効率的・効果的活用で住民サービスの質の維持と向上を期待する

令和6年度決算は、総じて堅実な財政運営であると評価できる。今後も健全かつ持続可能な財政構造の堅持を望む。また、財政運営の効率性及び健全性確保の観点から、特に留意すべき事項が見受けられる3点について意見を付す。

1 不納欠損と過年度未収金について

税等の未収金について、回収不能ものが長期間不納欠損処理されず、過年度未収金で累積する事案がある。これにより、限られた人的資源が未収金対応で過度に費やされれば、現年度の徴収事務への影響が懸念される。法令に基づき適切に処理し、効率的で組織的な滞納整理を行っていただきたい。

2 自主財源について

自主財源比率は前年度から5・6%減。定額減税での個人市民税減収分は地方特例交付金で補填されるが、臨時対

応の依存財源。ふるさと納税も、安定性や継続性から自主財源と言いつつも側面があり、実質的には依存財源の性格がある点に注意が必要。

3 不用額について

不用額は全体として前年度より減少しているが、公共的な目的の達成には、予算編成時に十分な検討と積算が必要。より実効性のある予算の策定・執行に努められたい。

議選監査委員のひと言
榎本 博 議員

人口増加と高齢化は、社会保障費などの扶助費を押し上げる要因。歳出に占める割合が大きい扶助費が、前年87億円から99億円に増加した。

地域経済活性化

水産振興補助事業

予算：491万円 → 決算：491万円
海水温上昇等、漁場環境は悪化。水産業の振興には、「獲る漁業」から「育てる漁業」へ転換を進めることが重要です。市は、宗像漁業協同組合に補助を行い、水産高校、九州大学、イオン九州と連携した商品開発や畜養など、育てる漁業の発展に寄与しています。

新規就農者育成総合対策事業

予算：390万円 → 決算：384万円
新規就農者へ最長3年の経営開始資金を交付、新規就農者育成サポートチーム参画者へ指導者謝金を支払いました。令和6年度支給対象者は3人。支給対象者の早期の経営安定・育成のためには公的機関の支援が不可欠です。

創業支援事業

予算：350万円
→ 決算：299万円

市内で創業予定、もしくは創業1年以内の個人・会社に補助をし、市内での創業を支援。令和6年度は10人に補助金交付を決定。地域経済の活性化や発展につながっています。

苺栽培に励む
木下 泰一 さん

子育て・教育

新設小学校建設事業

予算：8億219万円
→ 決算：5億966万円

翌年度繰越額：2億9176万円
過大規模校である福間小学校の教育環境改善を図る目的で、令和9年4月開校に向け、宮司地区に新設小学校建設が進行中。令和6年度は土地造成工事、校舎等の設計を実施。建設総事業費は約78億円の予定です。

学童保育所管理運営事業

予算：1億1348万円 → 決算：約1億1318万円

学童保育所事業は保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成を図る大事な事業です。全8施設のうち、指定管理は6施設、業務委託は2施設。令和6年度は10月に待機児童が解消しました。

くらし向上・防災

県営ため池整備負担事業

予算：2674万円 → 決算：2671万円
農業用ため池において、防災工事（老朽化・地震対策・豪雨対策）を必要と判断された、ため池の堤体の工事を県が行う事業。令和6年度は尻長下広光地区、奥野地区を実施。

コミュニティバス運行委託事業

予算：5041万円 → 決算：4859万円

持続可能な地域公共交通網形成のためにコミュニティバス運行は重要な事業。令和6年4月から新路線で運行を開始。利用者は令和5年度より約4,500人増加しました。

議会は、全議員で構成する決算審査特別委員会での審査、本会での審議を行い、令和6年度決算を認定しました。
決算審査は、すでに執行済のものを審査しますが、市が行った事業を住民に代わって評価する重要な意義があります。
令和6年度のみ皆さんのくらしはどうでしたか。この特集を読んで、振り返ってみてください。

高齢者・障がい者福祉

認知症サポーター育成事業

予算：69万円 → 決算：53万円

認知症サポーター養成講座は、市内で働く介護事業所の専門職員、地域福祉に携わる市民等で構成される認知症セーフティネットワーク蓮華草と協力して取り組んでいます。令和6年1月に認知症基本法が施行され、新しい認知症観を広げる必要があります。

基幹相談支援センター事業

予算：4955万円 → 決算：4955万円

基幹相談支援センター事業は精神障がいや身体障がい等に関する地域の相談支援の拠点として中核的な役割を担っています。令和6年度の相談件数は8286件。専門職の配置によって、複雑多岐にわたる相談支援を実施することができました。

基幹相談支援センター
センター長
小石原 宏明 さん